

研究種別	成長戦略課題	
研究課題名	受精卵生産の効率化に向けた省力的経膈採卵技術の開発	
研究期間	8年度 ～ 10年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.8
2	研究内容の新規性	4.2
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.8
4	研究予算、研究体制の妥当性	4.0
	総合評点	4.5
[コメント] 県産和牛増頭にむけた技術開発であり、地域産業の発展に資する技術である。また、現場ニーズも十分あると考えられる。期待される成果、波及方法も十分示されている。また、和牛の増頭はブランド確立において重要なテーマであり安定生産に寄与ができると、牛へのストレス軽減観点からも期待が高い研究である。さらにアニマルウェルフェアに寄与するところも県産和牛のアピールポイントになることも期待する。		

研究種別	一般研究課題	
研究課題名	体外受精卵発生動態管理と受胎率予測による乳牛高受胎技術の開発	
研究期間	8年度 ～ 10年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.4
2	研究内容の新規性	4.2
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.8
4	研究予算、研究体制の妥当性	3.8
	総合評点	4.1
[コメント] 乳牛の受胎率向上による酪農家の収益性向上による地域産業の発展に資する研究であり、研究の必要性は高い。 また、優良受精卵選抜のニーズは高い。受胎率予測モデルはこれまでの予測モデルを飼養環境も含めて構築することを目的としており、新規性も高い。 研究目標については、受胎率予測モデルについては検討ではなく、明確な目標を建てていただきたい。		

研究種別	成長戦略課題	
研究課題名	ICTを活用した飼養管理支援システムの開発	
研究期間	8年度 ～ 10年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.0
2	研究内容の新規性	4.8
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.2
4	研究予算、研究体制の妥当性	3.5
	総合評点	4.1
[コメント] 肥育豚の適切出荷と労働力省力化に向けた技術開発であり、養豚業の発展に資する研究開発として評価できる。また、これまで開発した技術を核に実用化に向けた技術開発であるため、実現度・新規性も有しており、研究目標、研究計画の妥当性も明確である。研究予算については計画書について修正をお願いしたい。農家ニーズも高いと思われるので、普及にまで踏み込んだ研究開発としていただきたい。		